

研究課題名	静脈カテーテル感染症等の輸液ルート使用にかかわる実態調査
研究の対象	2019年1月1日～2021年12月31日の3年間に当院で、中心静脈カテーテル治療を受けられた方
本研究の目的、方法	<p>静脈カテーテルによる感染症と閉塞率の発生率、輸液ルートの種類と使用状況、安全性とNST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）および薬剤師の有用性を把握することを目的とします。の</p> <p>患者さんの診療録から必要な情報（性別、年齢、身長、体重、体温、主病名、末梢・中心静脈カテーテルの関連血流感染症の発症日、留置期間（挿入日、抜去日）、カテーテルの種類、挿入部位など）を収集し、解析を行います。患者さんへ新たに追加検査をご協力いただくことはありません。</p> <p>研究実施期間：許可日～2022年12月</p>
研究に用いる診療情報/検査試料の種類	<p>利用させていただくカルテ情報は下記です。</p> <p>診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査等）、病歴、カテーテル留置目的、カテーテルの製品名・規格など</p>
外部への資料・情報提供の有無	データセンターへのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
公表	研究成果は学会や医学論文などに発表します。
本研究の資金源/企業からの援助（利益相反の有無）	<p>本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。</p> <p>日本臨床栄養代謝学会より郵送費等の事務費を負担する以外、特別な研究資金を必要としていません。</p>
お問い合わせ、連絡先（当該研究における当院内での責任者）	<p>お問い合わせや以下のことなどあればお申し出ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</li> <li>・ ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。</li> <li>・ 研究の進捗、結果についてお知りになりたい場合は、その時点でお答えできる範囲でお教えします。</li> </ul> <p>済生会宇都宮病院 所属 薬剤部 名前 渡部 義和 〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町 911-1 TEL 028-626-5500</p>
備考	